

津波・高潮・液状化とは…

大町町では津波、高潮の該当区域はなく、液状化危険度も低い地域ですが、津波、高潮、液状化について理解し、お出かけの際は注意して行動ください。

●津波とは

津波は、海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底における地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされるものです。特に大規模なものであれば、沿岸に達すると破壊力の大きな大津波となります。

東日本大震災では津波によって、多くの犠牲者や被害が発生しました。



●高潮とは

台風や強い低気圧が接近すると、波が高くなると同時に、気圧の低下により海面が吸い上げられ、水位も上昇します。この現象を高潮といいます。高潮で一旦浸水が始まると、低地では浸水被害が一気に広がるおそれがあります。

過去には伊勢湾台風で広範囲にわたり高潮被害が発生しました。



●液状化とは

液状化とは、地震が発生した際に地盤が液体状になる現象で、建物や電柱が傾いたり、橋や堤防が崩壊・沈下するといった被害が発生します。また、地中のマンホールや水道管・下水道管が地表に浮き上がることで破損することもあります。

東日本大震災でも23,000棟を超える住宅が被害を受けました。

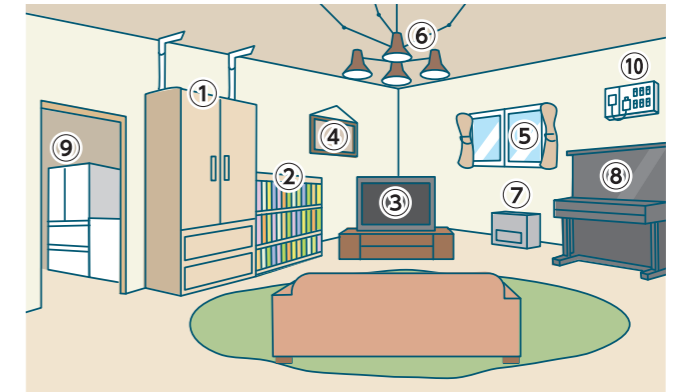


地震に備えましょう

●家の中の安全対策

1 タンス・棚・書庫…

十分な強度のある柱や壁などにし字金具などで固定しましょう。支え棒を使用する場合は壁側に設置し、床との間に免震ゴムを手前側(壁の反対側)に入れると倒れにくくなります。特に二段重ねのものは、つなぎ目を金具などで固定しましょう。



- 2 **本棚**…… すきまがあると危険なため、ブックエンドなどを活用し、本がすべり落ちないように、バンドをかけるなど対策しましょう。
- 3 **テレビ**…… 家具の上などには置かず、できるだけ低い位置に固定して置きましょう。
- 4 **額縁**…… チェーンや金具でしっかり固定し、ガラス面には飛散防止フィルムを貼るとより安全です。
- 5 **窓**…… ガラス面には飛散防止フィルムを貼りましょう。
- 6 **照明器具**…… つり下げ式の照明器具は、チェーンと金具で数か所固定しましょう。
- 7 **暖房機器**…… ストープは耐震自動消火装置付きのものを使用しましょう。燃えやすいものは周囲に置かないようにしましょう。
- 8 **ピアノ**…… 本体にナイロンテープなどを巻き付け、太めの柱に取り付けた金具に連結して、しっかりと固定しましょう。脚には専用のすべり止め器具を付けましょう。
- 9 **冷蔵庫**…… 転倒防止用の専用ベルトや針金を通して、壁などに固定しましょう。
- 10 **感震ブレーカー**…… 電気火災対策として感震ブレーカーの設置をしましょう。

※生命維持装置に直結するような医療用器具等を設置(使用)している場合、平時から停電に対処できるようバッテリー等を備えておいてください。また、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

●家のまわりの安全対策

屋根

不安定なアンテナや屋根瓦は補強しておきましょう。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓をしておきましょう。

ブロック塀・門柱

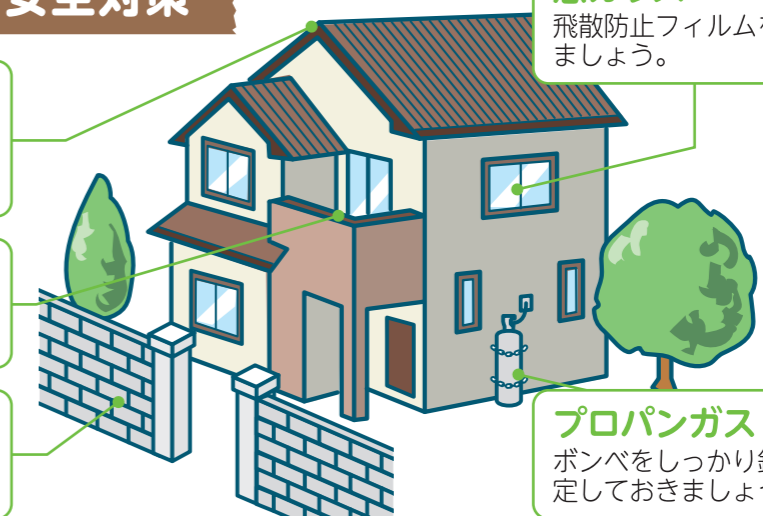
しっかり点検をし、補強をしておきましょう。

窓ガラス

飛散防止フィルムを貼りましょう。

プロパンガス

ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう。



家の中には地震発生時に危険になるものが多数あります。家具や大型家電製品が倒れて出入口や避難経路をふさぐこともありますので、固定したり、配置場所を変更するなどの対策をしましょう。また、家のまわりにも危険なものがあります。

まずは可能なことから実践し、見直ししながら安全性を高めていきましょう。